

1 目的

本校園芸工学・農業経済科においては、これまで地域の特性を活かしたマメ類の栽培やフラワーデザイン実習、販売会等を通して、農業に関する専門性の深化や就農意欲の醸成を図るとともに、イベント等を通して学校及び生産物のPR等に努めてきた。

今年度も引き続き、これらの取組等とおして、生徒の農業への興味・関心を高めるとともに就農意欲の向上を図る。

2 実施状況

(1) 山川中学生への豆腐作り体験の実施

山川中学校1年生が本校を訪問し、「豆腐作り」の体験を行った。豆腐ができるまでの工程やポイントなどを学ぶとともに、農業や山川高校での学習内容について興味・関心を高めてもらう機会とした。



豆腐作りの説明

(2) 先進農家視察の実施

ア 西農園（スナップエンドウ栽培など）

圃場の視察をとおして、指宿市がスナップエンドウの生産量日本一であることを実感するとともに、栽培上のポイントや経営について説明を受けた。将来の進路や学校での学習につながる良い機会となった。



西農園の視察

イ カマタ農園（キャベツ、大型トラクタなど）

圃場において畑や大型トラクタやドローンを見ながら、経営概要について説明を受けた。大型トラクタ、ドローンの導入にいたった考え方や経営方針などを伺い、今後の農業の姿や可能性を肌で感じるとともに、農業機械導入のメリットや経営における優位性などについて学ぶことができた。



大型トラクタの見学

(3) 営農の門出を励ます会の実施

卒業生のうち1人が鹿児島県立農業大学校へ、2人が農業団体へ就職することになり、これら3人の生徒を励ます会を実施した。会においては、3人の生徒が抱負や目標を発表し、地域農業に貢献する決意を新たにした。



営農の門出を励ます会

3 今後の課題及び取組

本事業による継続的な御支援により、今年度は卒業生12人中3人(25.0%)が農業関係の進学・就職が決定した。今後も生徒の農業に対する興味・関心を育むとともに、地域の農家関連産業とのマッチングを図りながら、地域農業を支える人材の育成に取り組んでいきたい。